

市民福祉講座 2

藻谷浩介氏が
下関を愛する人たちに語ります

終のすみかの地・下関をどうしたらいいのか？

未来の子供たちのためにも

～今、私たちは何をすべきかを考えます～

2015年1月31日
下関市社会福祉センター

講師 藻谷浩介
日本総研調査部主任研究員

《受講感想》

高齢化率が31%の我が下関の
行先を憂いていたが、データ
を根拠としての話に納得.と同時
に思いもよらない視点の示唆が
あった.後は動き出すことです..



人口が減ることが「希望」と言う話
は目からうろこでした。
いちばん弱い立場の人の視点を持
った地域社会は人口が増え、弱者
に冷たい地域は人口が減る。

この度の藻谷さんのご講演は、人口動態から下関の有り様を考えるものでした。

(参加者の中には、「今、地域作りに努力しており、「里山資本主義」に関するお話も聞きたかった」という感想もありましたが...)

地方の小都市で農山村という地域性もある下関では、どうしても若者が定住しにくいという問題点があります。まとめのお話で、前向きにできることとして、「無病息災で天寿を全うする高齢者を増やす」ということがありました。 私たちが実践している「介護予防のためのサロン」の意義を改めて思い直しました。